

- |                                       |              |           |             |
|---------------------------------------|--------------|-----------|-------------|
| 1. 生活保護                               | 2. 児童手当      | 3. 児童扶養手当 | 4. 特別児童扶養手当 |
| 5. 障害児福祉手当                            | 6. 母子寡婦福祉貸付金 |           |             |
| 7. 施設退所児童等に対する就職・就学を促進するための生活福祉資金の貸付け |              |           |             |
| 8. その他                                |              |           |             |

## 2. 子ども家庭総合評価票総括一覧シートの作成

評価票の記入が終了したら、各年齢・相談別版に対応した総括一覧シートに評価結果を、総括一覧シートにある記入要領に従って転記する。総括一覧シート上での採点結果に沿って該当する支援への検討課題を参照し、ケースに対する理解を深めるとともに、総合診断票の作成時などの参考資料とする。（別紙2（縮小版：半分）を参照）

## III. 援助指針票の作成

### 1. 様式

別紙4のとおり（縮小版：半分）

### 2. 作成にあたって

#### （1）作成方法について

- ① 援助指針については、児童相談所が、種々の専門職員の関与による総合診断に基づき、子ども本人、保護者、児童福祉施設など関係機関の意見や協議などを踏まえ、作成すること。
- ② 援助指針の見直しを行う場合には、新たな用紙に作成すること。

#### （2）記入にあたって

記入例（別紙5）を参考にして

- ① 「援助の選択及びその理由」については、選択した子ども本人に最も適した援助及びその理由について明記すること。
- ② 「本人の意向」及び「保護者の意向」には、本人や保護者がどのようなニーズを持ち、どのような支援・治療を望んでいるのかなどについて記入する。また、具体的な支援・治療ニーズ・内容・方法などについての要望がある場合には、その内容を記入すること。ただし、乳幼児の場合には「本人の意向」を省略することは差し支えないが、可能な限り聴取すること。  
なお、本人と保護者との意向が異なる場合には、それが明確となるよう記入する。

また、都道府県児童福祉審議会の意見を聴取した場合はその意見を明

記する。

- ③ 「援助方針」については、アセスメントの結果や総合診断から明らかになった援助ニーズに基づき到達したいと考えている内容や方向性などについて記入する。  
※ 援助する側の視点で記入する。
- ④ ケースの状況によって異なるが、「長期目標」は概ね6ヶ月～2年程度で達成可能な目標を設定する。「短期目標」は概ね1～3ヶ月程度で達成したり進展するような目標を設定する。  
「長期目標」を達成するためにより具体的な目標として「短期目標」を設定する。
- ⑤ 「援助上の課題」については、アセスメントの結果や総合診断から明らかになった優先的・重点的課題について、優先度の高いものから具体的に記入する。
- ⑥ 「援助目標」については、「援助方針」の内容を踏まえ、「援助上の課題」に対する具体的な援助目標を記入する。
- ⑦ 「援助内容・方法」については、援助目標を達成するための援助内容・方法について、回数や頻度などを含めできるだけ具体的に記入すること。
- ⑧ 「評価」については、指針作成者（担当者）が中心になって、職員による行動観察、評価票をはじめとした客観的評価、子ども本人の自己評価などの資料に基づき、達成状況などについて、ケース検討会議などにおいて、関係職員と検討の上、行う。
- ⑨ 特記事項欄には、通信・面会の制限状況や関係機関との連携状況など特記すべき事項について記入する。
- ⑩ 必要な内容は、様式の枠にこだわらず、枠を広げるなど工夫して記入すること。

## IV. ケース概要票の作成

### 1. 様式

別紙6のとおり（縮小版：半分）

### 2. 作成にあたって

#### （1）作成方法について

- ① ケース概要票は、ケース検討会議での、児童相談所から送付されてきた資料及び入所時における子どもの生活状況などについての検討結果に基づき記入すること。

- ② 検討及び記入する上で資料が不足している場合には、担当者は、児童相談所に要求し、必要な情報を得ること。

## (2) 記入にあたって

記入例（別紙7）を参考にして、

- ① 基本事項欄には、子どもの本人の氏名、保護者名などを記入する。
- ② 年齢欄には、子ども自身の生活史の記入事項に該当する年齢を記入する。
- ③ 子ども自身欄には、主たる問題の経緯を含め、子ども自身の生活史を記入する。
- ④ 家庭生活欄には、家族史を記入する。
- ⑤ 地域社会欄には、保育所、学校、子ども会などのサークル活動などにおける生活史を記入する。
- ⑥ 既往歴・特記事項欄には、病歴や各種手当での受給歴などを記入する。
- ⑦ 家族関係欄には、ジェノグラム（家系図）を作成し、家族メンバーの特徴及び生活状況について記入する。
- ⑧ 地域社会欄には、近隣の状況、保育所や学校などの状況、社会資源などについて記入する。
- ⑨ 子どもの心身状況欄には、子どもの心身状況、自己、関係性、日常生活動作能力、性格、行動特徴、特長などについて記入する。
- ⑩ 総合所見欄には、資料に基づき、子どもやその家族に関する総合的なアセスメント、今後の支援方針及び具体的な支援のあり方などについて記入する。
- ⑪ 必要な内容は、様式の枠にこだわらず、枠を広げるなど工夫して記入すること。

## V. 自立支援計画票の作成

### 1. 様式

別紙8のとおり（縮小版：半分）

### 2. 策定にあたって

#### (1) 策定方法について

- ① 自立支援計画については、児童福祉施設が中心になって、児童相談所で作成した援助指針に基づいて実施した支援・治療の効果などについて評価・検討し、子ども本人、保護者、児童相談所及び関係機関の意見や協議

などを踏まえ、策定すること。

- ② 自立支援計画の見直しを行う場合には、そのつど新たな用紙に策定すること。

## (2) 記入上のポイント

記入例（別紙9）を参考にして

- ① 「本人の意向」及び「保護者の意向」には、本人や保護者がどのようなニーズを持ち、どのような支援・治療を望んでいるのかなどについて記入する。また、具体的な支援・治療ニーズ・内容・方法などについての要望がある場合には、その内容を記入すること。ただし、乳幼児の場合には「本人の意向」を省略することは差し支えないが、可能な限り聴取すること。  
なお、本人と保護者との意向が異なる場合には、それが明確となるよう記入する。
- ② 「支援方針」については、アセスメントの結果や総合診断及び施設における支援状況から明らかになった支援ニーズに基づき到達したいと考えている内容や方向性などについて記入する。  
※ 支援する側の視点で記入する。
- ③ ケースの状況によって異なるが、「長期目標」は概ね6ヶ月～2年程度で達成可能な目標を設定する。「短期目標」は概ね1～3ヶ月程度で達成したり進展するような目標を設定する。  
「長期目標」を達成するためにより具体的な目標として「短期目標」を設定する。
- ④ 「支援上の課題」については、アセスメントの結果や総合診断から明らかになった優先的・重点的課題について、優先度の高いものから具体的に記入する。
- ⑤ 「支援目標」については、「支援方針」の内容を踏まえ、「支援上の課題」に対する具体的な支援目標を記入する。
- ⑥ 「支援内容・方法」については、支援目標を達成するための支援内容・方法について、回数や頻度などを含めできるだけ具体的に記入すること。
- ⑦ 「評価」については、計画作成者（担当者）が中心になって、職員による行動観察、評価票をはじめとした客観的評価、子ども本人の自己評価などの資料に基づき、達成状況などについて、ケース検討会議などにおいて、関係職員と検討の上、行う。

なお、子どもや保護者に計画書を必要に応じて開示することから、この欄の記入内容については、簡潔でわかりやすいこととし、別紙（例：月間評価票などのようなもの）にその詳細な内容について記載するなどの工夫

を凝らすことも必要である。

- ⑧ 特記事項欄には、通信・面会の制限状況や関係機関との連携状況など特記すべき事項について記入する。
- ⑨ 必要な内容は、様式の枠にこだわらず、枠を広げるなど工夫して記入すること。

【別 紙】

## 1. 児童記録票

### 2. 子ども家庭総合評価票及び総括一覧シート

- (1) 子ども家庭総合評価票（乳児期：養護・虐待・育成相談版）
- (2) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（乳児期：養護・虐待・育成相談版）
- (3) 子ども家庭総合評価票（乳児期：障害・保健相談版）
- (4) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（乳児期：障害・保健相談版）
- (5) 子ども家庭総合評価票（幼児期：養護・虐待・育成相談版）
- (6) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（幼児期：養護・虐待・育成相談版）
- (7) 子ども家庭総合評価票（幼児期：障害・保健相談版）
- (8) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（幼児期：障害・保健相談版）
- (9) 子ども家庭総合評価票（児童期：養護・虐待・非行・育成相談版）
- (10) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（児童期：養護・虐待・非行・育成相談版）
- (11) 子ども家庭総合評価票（児童期：障害・保健相談版）
- (12) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（児童期：障害・保健相談版）
- (13) 子ども家庭総合評価票（思春期：養護・虐待・非行・育成相談版）
- (14) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（思春期：養護・虐待・非行・育成相談版）
- (15) 子ども家庭総合評価票（思春期：障害・保健相談版）
- (16) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（思春期：障害・保健相談版）
- (17) 子ども家庭総合評価票（青年期：養護・虐待・非行・育成相談版）
- (18) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（青年期：養護・虐待・非行・育成相談版）
- (19) 子ども家庭総合評価票（青年期：障害・保健相談版）
- (20) 子ども家庭総合評価票総括一覧シート（青年期：障害・保健相談版）

相談版)

3. 子ども家庭総合評価票記入のめやすと一覧表
4. 援助指針票
5. 援助指針票具体例
6. ケース概要票
7. ケース概要票具体例
8. 自立支援計画票
9. 自立支援計画票具体例